福島中央テレビ [FCTニュース]

南相馬市・八沢小学校　給食にひろがる支援の輪

2011年06月21日 19:27

震災後、小学生たちは不自由な学校生活を強いられていますが、数少ない楽しみが給食です。
地震や津波の被害が大きかった南相馬市では、その給食に支援の輪が広がっています。
南相馬市にある八沢小学校。
震災の影響で、6つの小学校の児童が一緒に学校生活を送っています。
授業が終わり、子ども達は給食の準備に向かいます。
しかしこの給食にも、震災の影響が出ていました。
＊南相馬市学校給食センター・鈴木美智代主任栄養士
「震災後、物流が止まってしまったので宅配便も入ってこない。そうすると物が入ってこないので子ども達に（給食を）供給できないのが問題だった」
給食が再開した4月当初のメニューは、似た品目ばかり。
しかし、ここのところ給食事情が少しずつ変わりつつあります。
＊記者リポート
「待ちに待った給食の時間がやってきました。おいしそうな匂いがしていますが、このハンバーグは支援団体が子どもたちのためにと用意したものです」
きょうハンバーグを提供したのは、OBやPTAなど八沢小学校の関係者で作る「すみれ会」。
市内全ての小中学校に、2，700食あまりを提供しました。
ほかにもソーセージやチーズなど、多くの団体からおかずの支援が寄せられたそうです。
＊八沢小学校・金谷哲校長
「毎回子どもたちは「おいしい」と言って食べている。きょうも色々（献立が）ついて喜んでいる。ほとんど普段の給食に近づいていると言っていい」
完全給食は2学期から再開する予定ですが、その前に寄せられているおいしい支援の輪。
子どもたちの笑顔の奥には、復興への光が見えるようでした。

建築士事務所協会　被災建物の復旧相談窓口を開設

2011年06月21日 19:26

県の建築士事務所協会は、建物の復旧について相談に応じる「建築復興支援センター」を立ち上げました。
センターでは、電話や窓口で被災した建物の相談に応じます。
国の外郭団体では、建築士などの専門家が、全体を建て替えるか一部の修復で済むかを判定するため、「被災度区分判定」という基準を設けています。
センターでは、この判定の受け方などの相談に応じ、建物建て替えのトラブル防止を目指します。
＊福島県建築士事務所協会・田畑光三会長
「（県内の）被害建築物の相談件数は1000件を超えております。復旧・復興への社会の期待に応えて行く必要があると考えております」
センターへの相談は無料で、平日の午後5時まで受け付けます。

独自の避難計画　福島市が策定へ

2011年06月21日 11:55

放射線への不安が広がる中、福島市は、今後、独自の避難計画を作ることにしました。
これは、きのうの市議会の中で市が明らかにしたもので、原発の状況が悪化した場合や、年間の被ばく線量が20ミリシーベルトを超える地点が見つかった場合などを想定し、29万人の住民の避難をスムーズに行うために、独自の避難計画を作ります。
市は、緊急時避難準備区域や特定避難勧奨地点に指定された場合には、子どもや妊婦を優先的に避難させる考えで、県外を含めた避難先や移動手段などについて検討を進めています。
なお、33万人が暮らす郡山市も、避難計画を作るかどうか検討を進めています。

http://www.fct.co.jp/news/

福島会　福島中央テレビ